

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：ななおSDGsスイッチ

活動地域：七尾市

活動におけるテーマ

『市民とともに歩む 七尾市ローカルSDGs プロジェクト』

本事業への関わり：2年目

活動団体と地域の紹介

2021年10月に産官学金民9組織によるローカルSDGs地域プラットフォーム「ななおSDGsスイッチ」を設立

<参画組織メンバー>

七尾市、国立大学法人金沢大学、能登鹿北商工会、七尾商工会議所、のと共栄信用金庫、株式会社日本政策金融公庫金沢支店、独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部、東京海上日動火災保険株式会社、一般社団法人七尾青年会議所



◆基礎データ(令和4年4月末時点)

人口:49,676人 世帯数:21,896世帯

⇒ 消滅可能性都市(着実に少子高齢化と人口減少が進んでいる)

⇒ まだまだ他人事or無関心or諦め ⇒ 「ジブンゴト」必要不可欠

◆地域資源

・「プロが選ぶ日本の旅館」総合日本1位の加賀屋を有する「和倉温泉」
様々なリゾート施設を有する「能登島」など観光資源が豊富！

・「世界の持続可能な観光地トップ百選」の選定都市！

・「世界農業遺産(GIAHS)」である「能登の里山里海」を有する都市！

⇒ 身近過ぎて当たり前、真の価値を市民が認識する必要がある



企業の経営支援に留まらず
地域の持続化支援も！

地域のあらゆる主体と共に
泥臭く挑戦しよう！



現時点の地域版マンダラ

ななおSDGsスイッチが実現したい七尾市との事業全体像

<内閣府「SDGs未来都市」認定制度申請>

未 経済面・社会面・環境面アプローチを踏まえた内容による「SDGs未来都市・モデル事業認定制度」への申請を実施 (SDGs推進都市として対内外に情報発信 → 七尾市内におけるローカルSDGs推進の更なる活性化に繋げるもの)

企業が将来に渡り継続し、より発展していくSDGs推進企業が生まれ育つ土壌を創る 七尾版「企業のSDGs宣言登録認証制度」の構築・運用

- ・地域資源・資源を活用した新商品の開発応援事業
- 未 ふるさと納税制度との連携支援
- 未 地域おこし協力隊制度×SDGs×創業支援事業
- 東京海上日動
- ・中小・小規模事業者 市民向けSDGs普及啓発事業 **【既存】**
- 【2021年10月18日開始】
- ・中小・小規模事業者向けSDGsよろず相談窓口の開設
- 未 ゼブラ企業及び併売のSDGs推進向け金融商品開発・販売
- 【既存】
- ・ソーシャルビジネス支援資金融資制度

経営支援機関等の本業拡充

- 未 電子地域通貨制度の対外・実施 流通促進事業
- 未 地元消費者による地元産品促進事業
- 未 関係・交流人口によるRPO志向施策
- 未 ふるさと納税制度やECサイトとの連携の検討
- 未 納税や入札制度等の電子通貨支払対応整備の検討
- 七尾商工会議所 能登鹿北商工会
- ・従来のワンストップ創業支援事業
- 未 ゼブラ企業のワンストップ創業支援事業
- 未 ゼブラ企業及び併売のSDGs推進支援事業
- 未 販売促進特化型支援事業
- 【2021年9月13日開始】
- ・専門家対応「SDGs相談窓口」との連携事業

経済面アプローチ

地域のあらゆる主体が参画して創る 「地域未来ビジョン」策定

- 【2022年5月8日開始】
- 2022年5月
- ・「ななおをぶく」未来ビジョンフォーラム開催
- ⇒地方創生とSDGs未来都市について知る
- ⇒垣根を超えたコミュニティが整理する力を知る
- ⇒七尾市の過去の地域ビジョンとその実現を知る
- 2022年7月～9月(計4回予定)
- 未 地域未来ビジョン検討ワークショップの開催
- ⇒市民みんなで先行事例や総合戦略などを整理し、採算可能な七尾市のビジョンを検討する
- 2022年10月
- 未 地域未来ビジョン発表フォーラムの開催
- ⇒あらゆる主体で策定したビジョンを地域全体に届け、地域共通のビジョンとする

社会面アプローチ

世界農業遺産(GIAHS)を利用保全 「能登の里山里海」

- 未 里山保全活動×環境学習×デジタルプロジェクト
- ⇒生き物の画像をAIで瞬時に判定できるスマホアプリと連携した生物多様性環境学習ワークショップを実施
- 七尾商工会議所 金沢大学
- 未 七尾市ブルーカーボンを減量再生プロジェクト
- ⇒全国第3位の削減量を誇る農場の減少を食い止め、CO2削減対策に取組む
- 【既存】
- ・自然の恵み生成プロジェクトと素づくりファブ運用
- 金沢大学
- ・シンクタンクサービス機能によるプロジェクト支援

環境面アプローチ



【能動的な市民輩出装置】～Noto SDGs Citizen College～「能登SDGs市民大学」新設 市民のためのSDGsの理解とビックプライド、社会・地域課題解決や持続的な経営を組み合わせた六方良し創業・新プロジェクトに役立つ学びの場

第1期生は190名！
修了生は130名以上！
地域ニーズ発見！

- <事業概要>
- ・開校期間：【第1期】2021年10月～2022年3月(月1回/原則18:00～20:30)
- ・参加対象者：市民をはじめとするあらゆる主体(七尾市とその周辺地域に所在を置く、または七尾市とその周辺地域に縁、関心のある高校生以上の事業者、創業希望者、地域住民、公務員、民間企業や団体組織にお勤めの方、学生等)
- ・講師陣：東京海上日動火災保険(株)、国産大学いかかわりかざわオペレーティング・ユニオ、環境省・EPO中部、(株)クレアノ、(大)金沢大学、七尾市役所、(一社)石川県中小企業診断士会

<地域課題>
主体性を持つ市民プレイヤー輩出にまでは至っていない。より効果的な施策展開が必要。

地域・市民・事業者

- 東京海上日動
- ・地域向けSDGs推進プロジェクトの実施
- ・SDGsカードゲームを使用したセミナー実施
- ・SNSに基づく定期的なSDGsプロジェクトの推進
- ・その他市民のシビックプライドの醸成に資する事業

地域住民(創業希望者)

- 七尾商工会議所 能登鹿北商工会
- ・事業者・市民向けSDGs意識アンケート調査の実施
- ・事業者向け事業者向けSDGs ESG意識調査事業
- ・市民向け事業者向けSDGs ESG意識調査事業

事業者

- 日本政策金融公庫
- ・市内学校でのSDGs出前授業の実施
- ・市内高校生向けソーシャルビジネスアプリ
- ・市内小中学校でのSDGs出前授業の実施
- ・市内小中学校のSDGsプロジェクトサポート

地域全体

市内小中高生

- 七尾商工会議所 金沢大学
- ・七尾市フィールドへの学生誘致
- ・地域課題を踏まえた大学生へのアノレブレナー養成講座
- ・学生連携による地域有志活動の活性化プロジェクト実施

※「未」は現時点では未着手のプロジェクト

活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- ・想いある一部のアップー層だけの取組みに終わらせず、あらゆる主体を巻き込んだムーブメントにするには？
- ・「私（ウチの会社）は関係ない」から、シビックプライドを醸成し、ジブンゴト市民を如何に増殖させていくか？

地域のありたい未来

- ・バックキャストによる課題抽出で課題山積みに押しつぶされる事の回避
- ・「ワクワク」をモチベーションとした行動であらゆる主体が社会課題解決に楽しんで取組みたくなる地域

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

七尾市における産学官民金連携SDGs・ESG推進のための七尾SDGsコンソーシアム
「ななおSDGsスイッチ」（次頁にて掲載）

想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- （経済面）培ってきた経営金融支援ノウハウと長年の連携体制によるメンバー間の信頼関係
- （社会面）行政の協力と地元青年会議所が中心となって行ってきたまちづくり事業の経験
- （環境面）「世界農業遺産（GIAHS）」である「能登の里山里海」の生物多様性

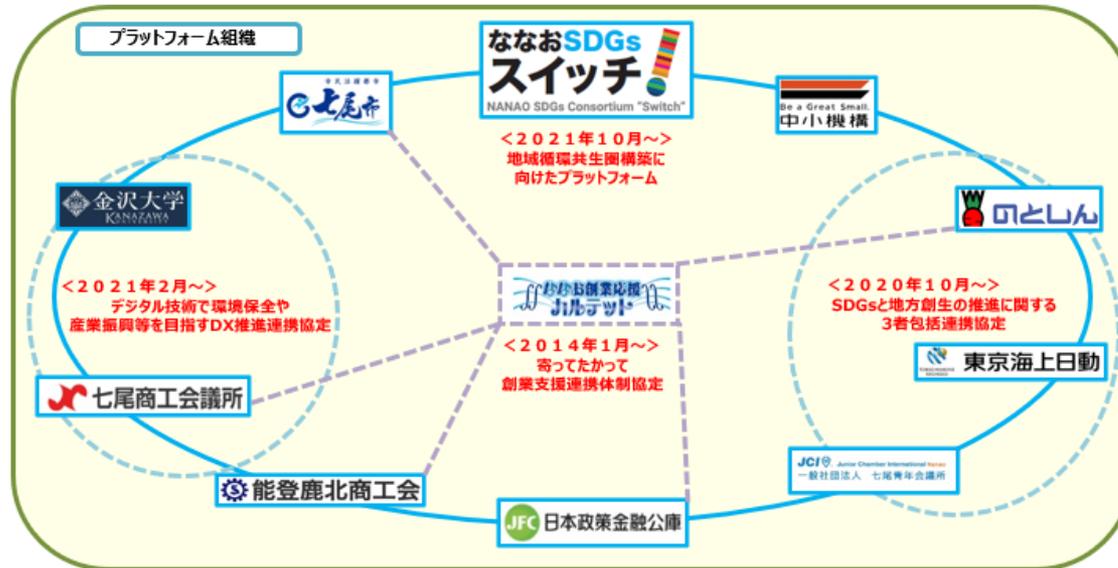
目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

2023年3月 1年後の地域プラットフォームのイメージ

七尾市における産学官金民連携SDGs・ESG推進のための七尾SDGsコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」



産学官金民9組織連携チームを2021年10月に設立！！



<地域プラットフォーム参画組織メンバー>

- (産) 能登鹿北商工会、七尾商工会議所、中小企業基盤整備機構北陸本部
- (学) 金沢大学
- (官) 七尾市
- (金) のと共栄信用金庫、日本政策金融公庫金沢支店、東京海上日動火災保険
- (民) 七尾青年会議所

ステークホルダー

←新たに加わってほしいSH

<社会面>

- ・あらゆる層の七尾市民

<環境面>

- ・電力会社(北陸電力様)
- ・DX推進支援企業

<経済面>

- ・社会課題解決型企业

←想定している課題・阻害要因

<運営面>

- ・本事業に割ける人財や時間、予算が限られている。参加できる人数ではなく、主体的に参画するマインドを持った仲間を如何に増やすか。

<実施面>

- ・ジブングトアクションとして、どれだけの市民、事業者をワクワクさせ巻き込めるか。

地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

あらゆる主体が社会課題解決に「ワクワク」をモチベーションとしたアクションで楽しんで取組みたくなる地域



地域のありたい未来を実現するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

- ・悲観するのではなく、ワクワクを原動力とした思考とシビックプライドの更なる醸成の仕組み
- ・あらゆる主体をどんどん巻き込んでいける共通項となり得るもの
- ・多様な生物を育む「能登の里山里海」保全・活用への理解と意識を醸成する仕組み

今年度取り組みたい事（本事業でチャレンジしたい事）

- ・(経済面) 推進企業を積極支援！形だけに終わらない「SDGs宣言登録認証制度」
- ・(社会面) 七尾市の未来を想い、あらゆる主体とともに創る「地域の未来ビジョン」
- ・(環境面) 里山里海をもっと身近で誇れる大切なものに！「生き物発見クエスト」の開催
- ・(総合面) 内閣府の「SDGs未来都市」への申請に向けて行政とともに取組む

年間スケジュール

